



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和4年7月14日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

祝 創立50周年

校長 小川 高弘

昭和47年の開校以来、創立50周年を迎え、7月7日に、無事記念式典を行うことができました。令和2年から始まったコロナ禍において、周年行事の準備が始まりましたが、どのような式典が行えるのか、不安ばかりでした。感染状況の変化によって、間際になって縮小するのではなく、最初から縮小した式典を計画いたしました。南中学校の歴史と伝統を築き上げてこられた歴代校長先生方をはじめ、諸先輩方、地域の皆様が一堂に会してお祝いすることができず、非常に申し訳ありませんでした。

前週には、連日、35度を超える猛暑日が続き、昨年設置されました体育館の空調をフル稼働させても室温は下がらず、直前には台風4号が発生し、当日が関東地方に接近という予報も耳に入ってきました。しかし、心配された台風は熱帯低気圧となり、風雨の影響を受けることなく、当日を迎えることができました。

当日は、東久留米市長 富田竜馬様をはじめ、多くの来賓の方々にご臨席を賜り、ありがとうございました。体育館内の密を避けるために、1年生は教室でリモート参加とさせていただきます。あいさつ、祝辞等に続き、今年8月に行われる第22回全校中学校総合文化祭福岡大会に出場する演劇部が、記念公演を行いました。また、式典の前後には、来賓の皆様へ、茶道部がおもてなしをさせていただきました。厳粛な中にも、心温まる記念式典ができましたことを感謝しております。参列しました生徒達にとりましても、意義深い思い出となったことと思います。ご協力いただきましたPTA本部役員の皆様、協力員の皆様、ありがとうございました。

当日いただきましたご挨拶と祝辞の一部を紹介させていただきます。

東久留米市長 富田 竜馬様

東久留米市立南中学校が開校五十周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

今日まで南中学校を支えてくださった歴代の校長先生をはじめ、教職員、保護者会、卒業生、そして地域の皆様方から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

南中学校は、昭和四十七年に市内で四番目に開校した歴史ある学校です。南中の校章にはイチョウの葉がデザインされています。なぜイチョウなのか、このことは学校紹介で説明されてきましたので、ここで紹介します。

イチョウは、

一、すくすくのび、たくましく、ゆるぎない

二、環境に強く、樹齢が長い

三、緑の東久留米をになう「市の木」である

これが由来であるということです。

私たちが生きる今は、答えがなく難しい時代、予測不可能な時代などと言われていますが、ご紹介したこの校章の由来は、古さをまるで感じさせないどころか、むしろ今に、そしてこれからはびったり合ったものではないかと感じました。

さて、今月1日に開催しました総合教育会議におきまして、7年ぶりの改定となる「東久留米市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を決定いただきました。この新大綱の冒頭、私は、子どもたちには「生き抜く力」を身に付けていくことが求められる旨申し述べています。南中学校の校章は、まさにこの「生き抜く力」をシンボルにされているのだと、感じた次第です。

また、このイチョウの葉は4枚デザインされています。この由来の一つに、

一、生徒、教職員、保護者、地域社会を結ぶ四者の使命というものがありません。

南中学校は、今後もこの使命をしっかりと担っていかれるものと確信いたします。

SDGsが掲げる「持続可能な社会」を生き抜く子どもたちが、この記念すべき開校五十周年を契機に、ますます、充実・発展される南中学校で育っていくことを祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

東久留米市教育委員会教育長 片柳 博文 様

東久留米市立南中学校の創立五十周年をむかえられました。誠にありがとうございます。教育委員会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

五十年前を顧みれば、高度経済成長期の終盤にあたり、人口の増加等、日本全体がエネルギーに満ちた時代でありました。東久留米市においても、都市化が急速に進みました。本校が開校した昭和四十七年には、札幌冬季オリンピックの開催、沖縄の本土復帰、日中国交正常化等の出来事があり、上野動物公園にパンダがやってきたのもこの年でした。

本校は、開校三年目にして部活動で、男子バレーボール部が全国大会優勝、八年目には女子バスケットボール部が全国大会準優勝し、生徒たちの活躍は目覚ましいものがありました。現在では、演劇部が全国大会に出場する等、その伝統が引き継がれています。また、進路指導研究教育校や人権尊重教育推進校の指定を受け、教育指導の充実にも努められ、近年ではオリンピック・パラリンピック教育推進校としての実績も残されています。まさに、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を推進されてきました。

現在、本校ではアメリカ ノースカロライナ州の高校生との交流授業を行う等、国際理解教育の推進を通して、世界的に活躍できる生徒の育成を目指して、教育活動に邁進されております。「子どもの未来をなくくむ学校づくり」を進めております教育委員会といたしましては、生徒たちが人間性豊かに成長し、これからの社会を生き抜く力を身に付けられるよう、引き続き学校を支援してまいります。

記念式典にご出席の皆様には、これまで、本校の教育活動にご理解やご支援を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。また、南中学校の教育がこれまでの歴史を礎に、より一層充実・発展していくことを期待していただき、学校の教育活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、教育委員会の挨拶とさせていただきます。

本校PTA会長 桜井 朋美 様

この度は、創立五十周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。これまで学校教育の発展にご尽力を賜りました歴代校長先生をはじめとし、教職員の皆様、並びに同窓会、PTA、地域の皆様など多数の方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の流行により、今まで当たり前できていた多くの行事や活動に制限がかり、生徒の皆さんも悲しい思いや悔しい思いをたくさんしてきたことと思います。その姿を間近で見ていた私たち保護者も胸を痛めておりました。

しかし、そのような大変な中であっても、絶望することなく「今できることは何か」「今だからこそできることがあるのではないか」と知恵を絞り、先生方をはじめ、たくさんの方々の方々の支えの中で、毎日を懸命に生きてきた皆さんのことを、私達保護者は、心から誇りに思っています。同時にこの五十年という長い年月の中にも、その時その時を懸命に生きてきた子ども達の姿があり、そのまっすぐでひたむきな姿が、南中学校の校風として今の皆さんに受け継がれてきたのだと思います。どうぞ、この南中学校の素晴らしい校風を、次の世代の後輩達にしっかりと受け継いでいってください。

私たち保護者は、生徒の皆さんのことを心から応援し、学校、地域と力を合わせて学校生活を全力で支えていきます。皆さんは、私たち大人にとって、かけがえのない大切な宝物だからです。南中学校に関わる皆様、どうぞこれからも子ども達のために、南中学校のPTA活動へのご協力をよろしくお願いいたします。結びに、南中学校のさらなる発展を祈念いたしまして、PTA挨拶とさせていただきます。

生徒代表の挨拶
代表 佐藤潤果さん



演劇部 記念公演
「銀河鉄道の夜」

茶道部による
お抹茶のおもてなし



創立五十周年記念式典
東久留米市立南中学校